

(仮称) 平群町文化センター・図書館建設事業& 町財政に関する住民説明会の結果報告

1. 開催日等

- (1) 開催日時 平成30年5月19日(土) 10:00～12:00
- (2) 開催場所 平群町中央公民館大ホール
- (3) 次第 午前 9時30分 受付
午前10時00分 開会・挨拶
午前10時10分 ～10時50分 説明会資料説明
午前10時50分 ～正午 質疑回答
挨拶・閉会
- (4) 配布資料 (仮称) 平群町文化センター・図書館建設事業&町財政に関する住民説明会
- (5) 来場者数 180名 (男性112名 女性68名)
- (6) 主催者側出席者 岩崎町長、西脇副町長、岡教育長
政策推進課長、政策推進課主幹、都市建設課参事
教育委員会総務課長、教育委員会総務課参事、教育委員会総務課主幹、
教育委員会総務課主任、(株)安井建築設計事務所

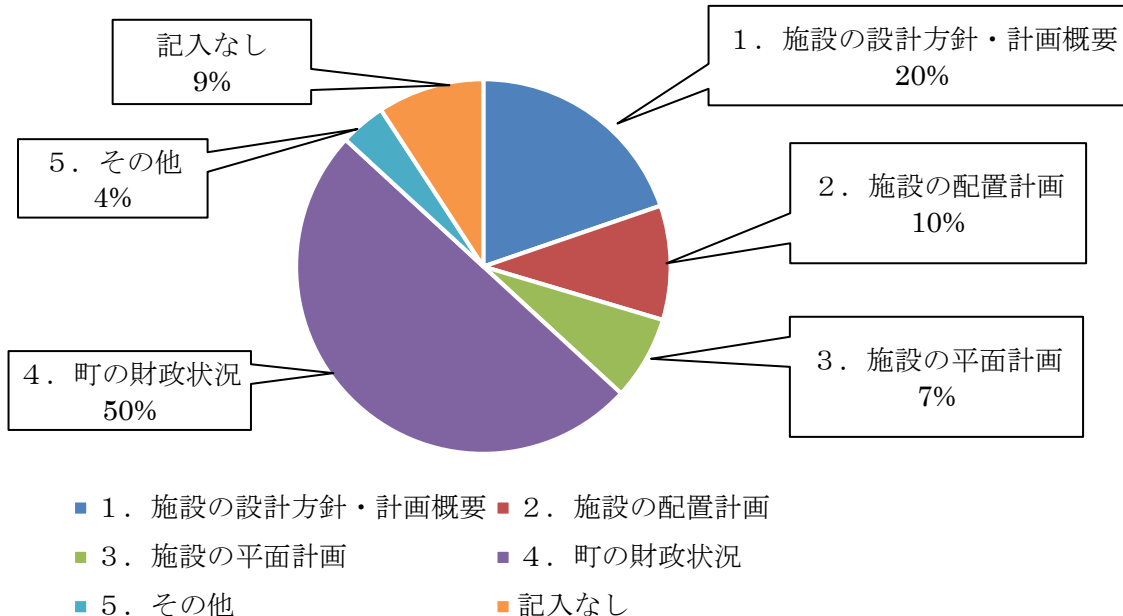
2. 来場者アンケート結果

(仮称) 平群町文化センター・図書館建設事業&町財政に関する住民説明会について、来場者にアンケートを実施しました。その結果は次のとおりです。

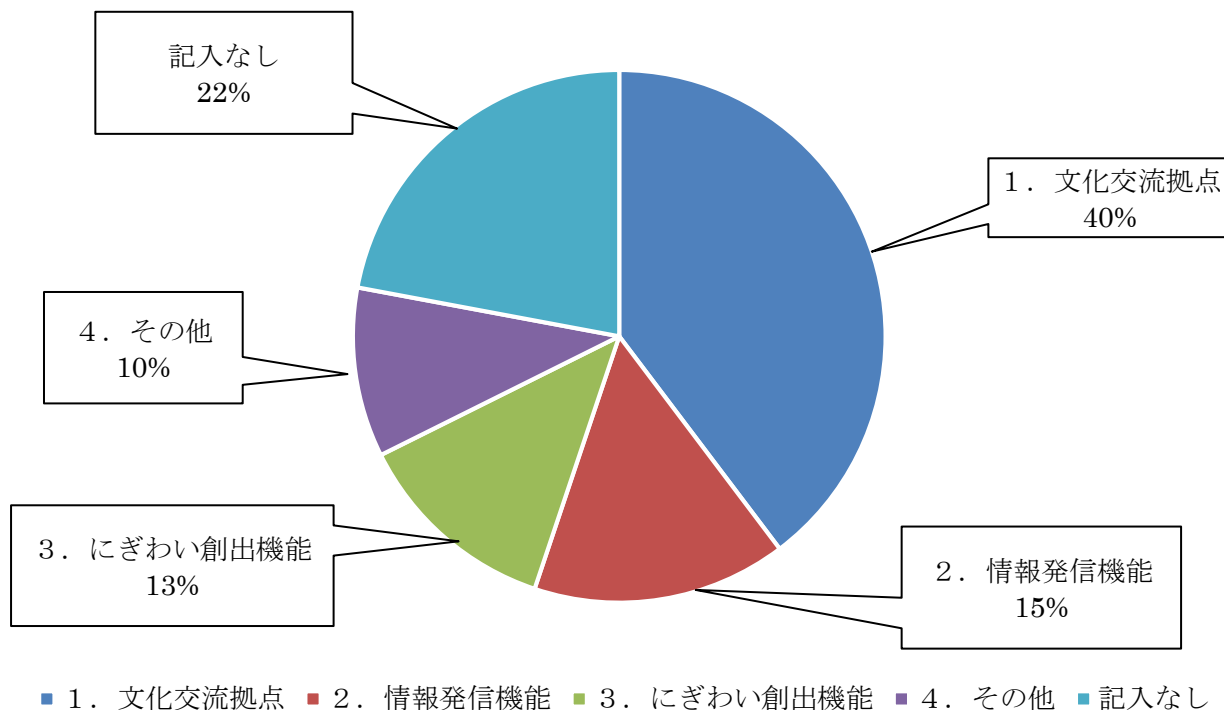
- (1) 回答者数 124名
(年代別回答数 20代1名、30代5名、40代2名、50代12名、60代34名、70代54名、80代12名、無記入4名)
- (2) 自治会・地区名等別参加者 124名
櫛原3名、椿台9名、緑ヶ丘10名、上庄3名、上庄台2名、梨本1名、若葉台11名、ローズタウン若葉台3名、吉新2名、三里3名、平等寺1名、下垣内2名、福貴1名、初香台3名、五月台1名、光ヶ丘7名、福貴畑3名、久安寺2名、信貴畑1名、榎原1名、越木塚1名、若井1名、西宮2名、日立団地2名、春日丘8名、龍淵(おたけ)2名、竜田川団地2名 北信貴ヶ丘3名、月見台5名、菊美台4名、無記名22名 茶道愛好会2名 尺八クラブ1名

(3) 質問項目別アンケート結果

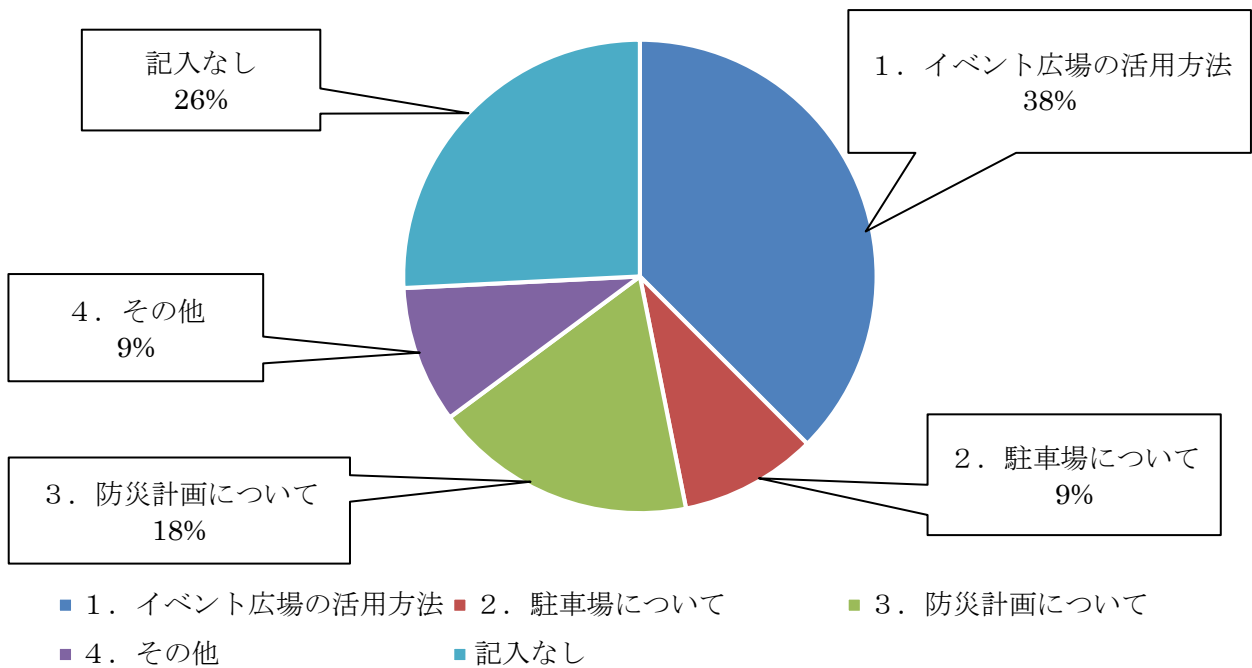
質問事項①：本日の説明の中で、一番関心を持った事項は何ですか？（20代～80代 年齢無記名）



質問項目②：施設の「設計方針・計画概要」の説明で、関心を持った事項は何ですか？（20代～80代、年齢無記名）



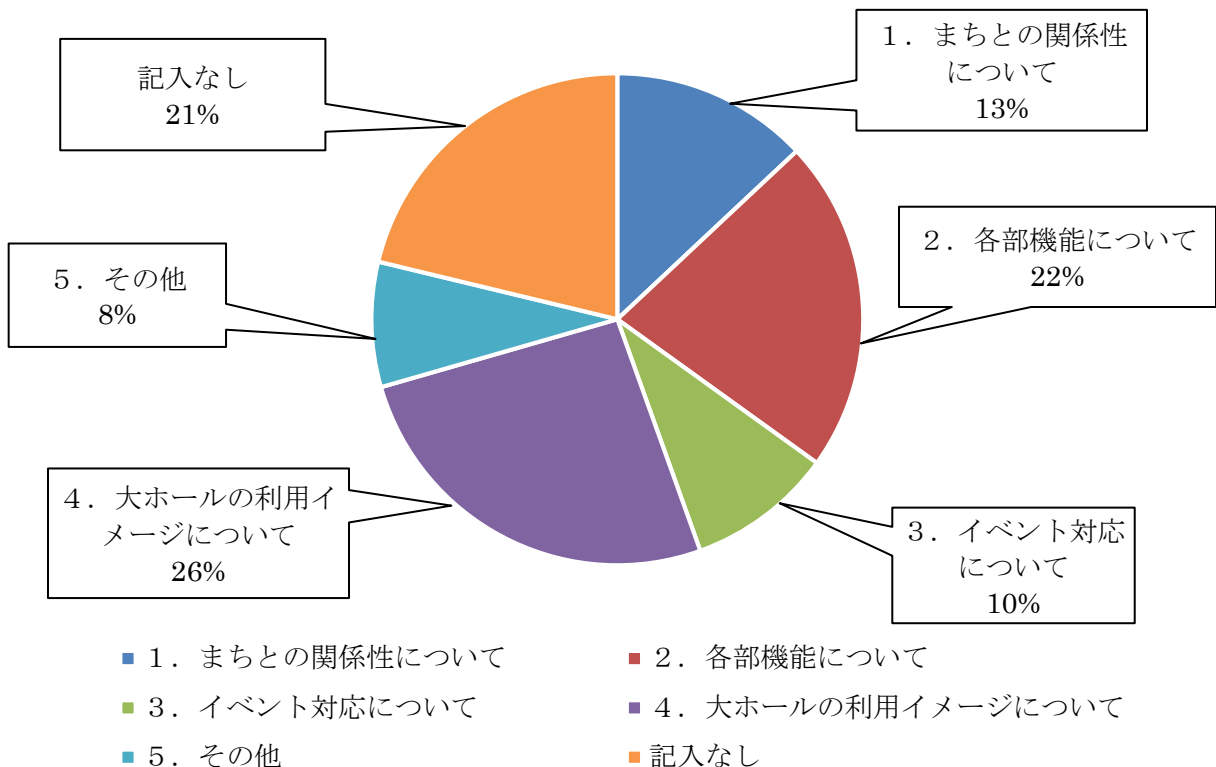
質問項目③：施設の「配置計画」の説明で、関心を持った事項は何ですか？（20代～80代、年齢無記名）



（質問項目③ その他の意見）

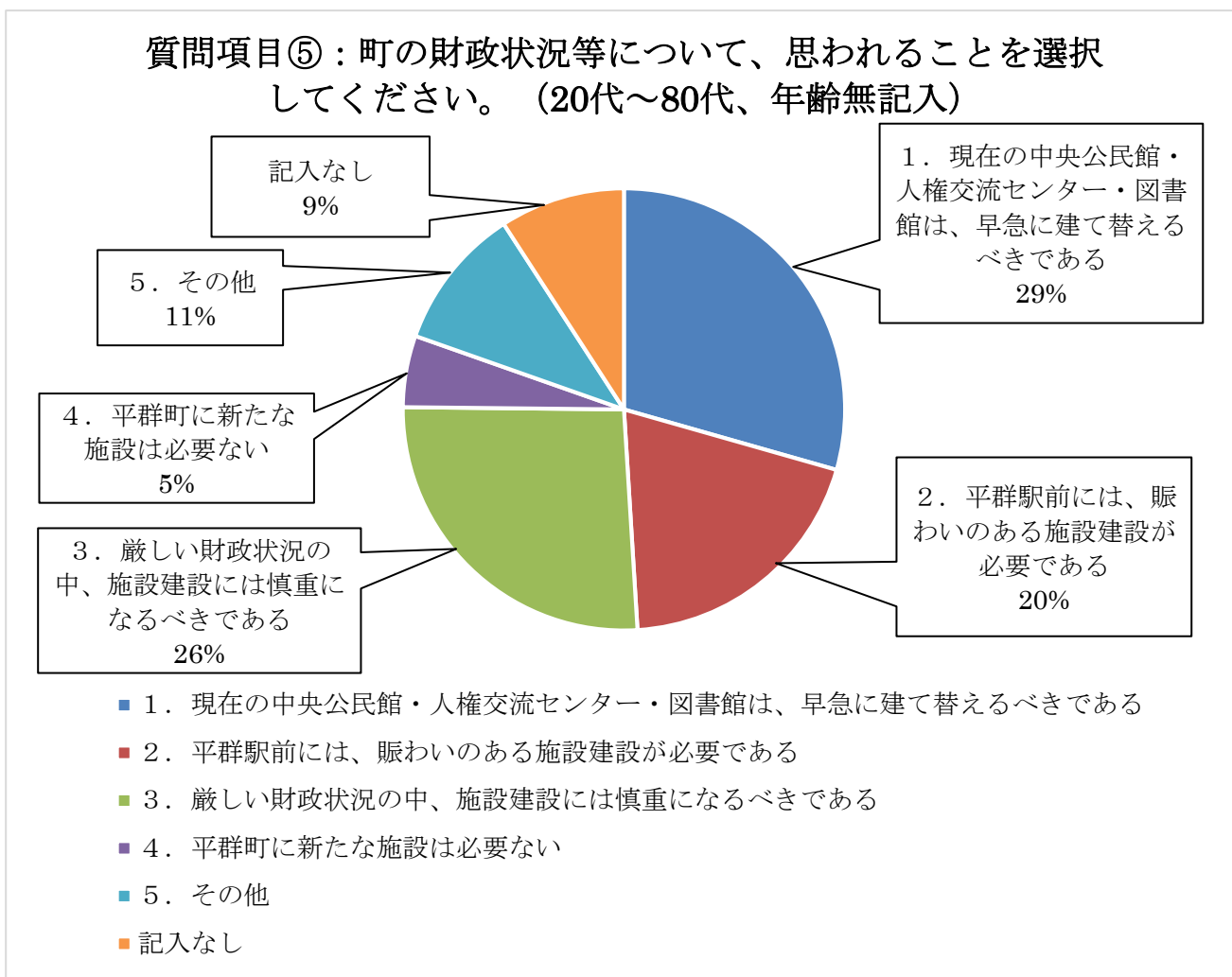
- ・防災計画をもっと具体的に考えて説明して欲しかった。
- ・図書館について

質問項目④：施設の「平面計画」の説明で、関心を持った事項は何ですか？（20代～80代、年齢無記名）



(質問項目④ その他の意見)

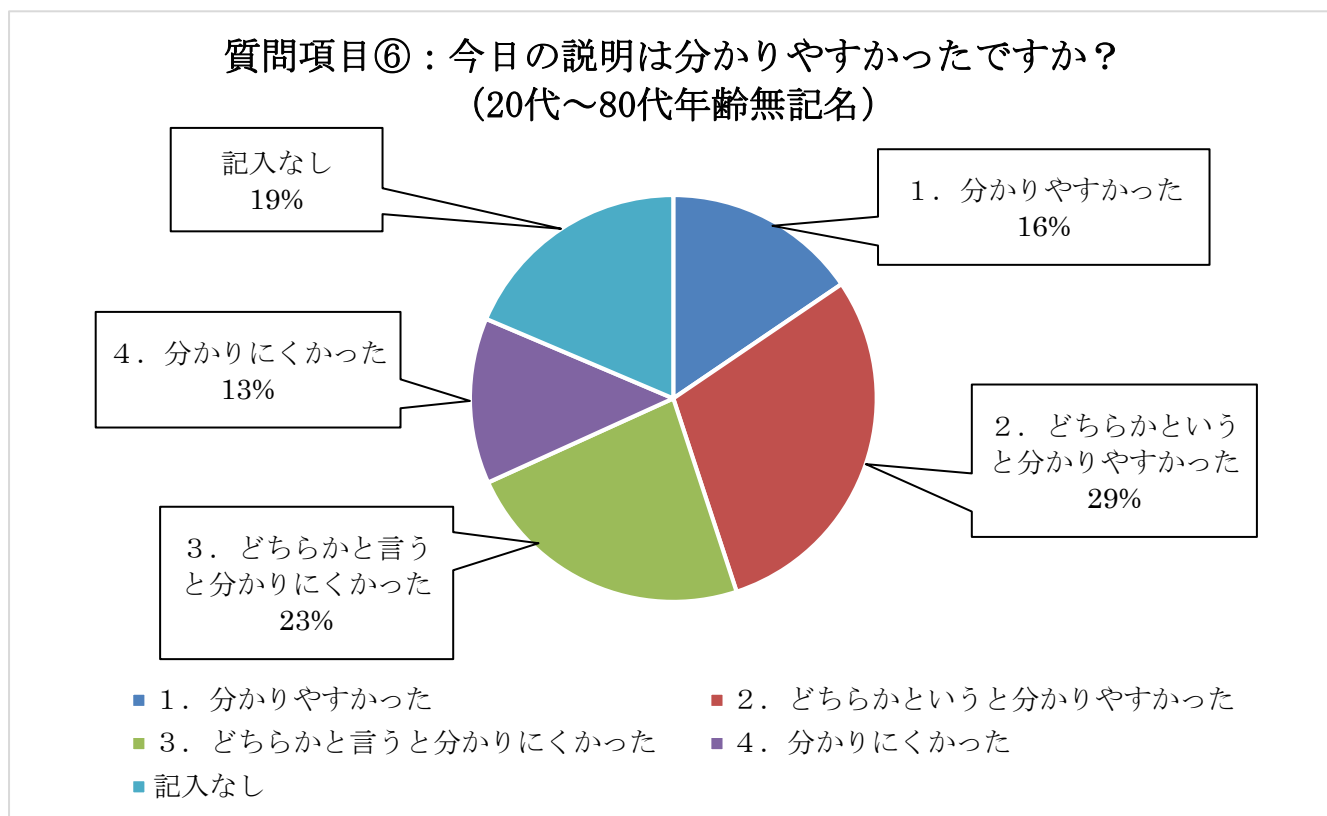
- ・文化財展示コーナー、その利用方法について
- ・休憩室の利用目的は何か？
- ・施設の省エネ化
- ・可動式のホールはメンテが必要で維持費が問題、固定式に！
- ・吹抜けが多すぎるため部屋にすべき
- ・人口減少の中で現在の2倍の広さのホールが必要か？
- ・図書館の蔵書数8万冊はあまりにも少なすぎる、15万冊は必要
- ・施設の維持費についての説明（人員増減、管理費の増減について）
- ・段床を取り止めて経費削減
- ・災害時の対応施設、ATMの設置



(質問事項⑤ その他意見)

- ・もっと広く、町民の意見集約を図るべき。
- ・今やるしかない。
- ・町が潤う産業の施策の検討及び計画は？

- ・現在の平群駅前再開発の失敗を隠すための小細工。
- ・現在の中央公民館・人権交流センター・図書館は早急に建て替えるべきであるが子育て世代への負担をかけることがしのびない
- ・人口減→税収減に対する担保の元に着工計画が必要。
- ・遊休地が多数というが売却は無理だと思う。



(質問事項⑥ その他意見)

- ・じっくり考える余裕がほしい
- ・通りいっぺんの説明
- ・具体的な説明不足（時間がない？）
- ・どちらかというと分かりにくかった。（財政）
- ・財政状況の見通しが甘いのでは？
- ・音声割れて聞きづらかった、音響装置の改善が必要
- ・財政の説明は分かりにくかった。

(4) . 質問項目別アンケート結果

(自由意見①) 本日の住民説明会について

・新聞記事の「平群町赤字団体」という文字を見、今更何を！！と。町長が変わるときはあと2億で赤字団体になる所まで平群は追い込まれていたのに腹が立ちました。町議会議員のミニコミ紙を見て最終の1行で私は安心しました。現町長になって、行政職員、議員、住民三位一体となって本日まで頑張ってきた平群の町です。赤字をプラスの赤字として考え地震が来ても倒れない文化センターを建てて下さい。そして住民の身を守って下さい。

・建設賛成します。

・区画整理事業と文化施設を合わせた町計画の変更は、中止できないとの答弁。赤字財政解消のメドが立たない中でのごり押し的な建設在りきでは、住む側の不安解消にはならない。19年度・22年度の住民要求から時間の経過があまりにも長きにわたり、なんで今、この借金(負債)を抱えてまでの建設かと思う。図書館建設を待ち望んできた者であるが、町としての防災、健保、道路舗装、地域包括支援の在り方、福祉の働き方、内容等いっぱい財政を必要とすることがあまりにも多すぎる。

・和室の要望 茶道教室として使用したいと思います。出来れば炉を作って欲しい。

(※複数意見有)

・消化不良です。各自治会単位で説明会をしてほしいです。

・具体的でわかりやすかった。

・広報に住民説明会の回答を載せてほしい。説明会に出席できなかった方に事実を知らせてほしい。

・文化センター等の建築の必要性がある理由、なかった場合の比較が欲しかった。

・東海・東南海地震が予想されますが、当事業にいかなる考慮がなされているのか。主にソフト面にて！（避難民の収容、災害本部の設置等について）

・現在の財政状況から文化センター等の建設は大問題。説明会懇談会をこの1回限りでなく、自治会毎とか形を考えてあと数回は開くべき

・「建設ありき」を見直すべき。

・パワーポイントの文字が小さく判読できなかった。内容の善し悪し以前に、顧客へのプレゼン資料として問題外の仕上がりでした。残念です。

・財政健全化の説明で平成35年までのシミュレーションが示されましたが、具体的にその後、いつどうやって赤字を解消する見通しなのか詳細な説明を希望します。

・今回の文化センター・図書館建設事業は町財政を更に悪化させる為、身の丈以上の事業である。住民は健康保険税増額で生活を守ることに必死であり、更なる財政悪化を避ける為、違約金を払っても中止する勇気が必要。

・現公民館を耐震設計にする。図書館は、高齢化が進むこと、必要とするものはほとんどインターネットで知ることが可能な時代である為、専門知識を必要とする場合は近隣の市町村と提携することで解決できる。費用対効果を考えるべき。

・計画当初と民意は異なっており、住民投票すれば圧倒的に反対となる。このままでは住民は平群から逃げ出すことになり財政難の平群に人は流入しない。

・行政の核となる庁舎は老朽化の為、建設には賛同する。

・建物の維持費はどれ位必要か？

・和室の給湯室を広くして使えるように。

・町の財政状況に関心を持ち参加したのですが、財政再建についての部分の説明が少なく納得できませんでした。文化センターについても財政との関係でもう少し規模縮小を考えては？

・今やめるなら、このまま進めるならと、この2パターンでメリット、デメリットをまとめて提示すべき。

・センター建設計画は早く進みすぎたと思っています。もっと全町民的な話し合いが必要だったのではないのでしょうか？特に借金を実際に返していかなければならない若者の考え方は大事ですね。

・「立ち止まる勇気」を私もそう思います。友人等周囲の話でセンターについてこれは良い事だという意見は聞いたことはありません。

・久々に住民説明に参加させていただき、町施策にこれからも関心を示していきたいと感じた。

・図書館が線路に面しているので防音対策や図書館とエントランスが斜めになっているのが気になった、シンプルな形で良いのでは？

・線路の近くは駐車場にし、ホール・図書館と庁舎が一体となるような作りが使いやすく利便性があると感じる。

・テラスの中に食事やお茶が飲めるカフェがあれば多くの人が集まると思う。(図書館の近くにあれば尚良いと思う。)

・図書館の子供の自習スペースも多くとれるようにしてほしい。

・大ホールが現在の施設の2倍は少し大きい。中央公民館大ホールは体操教室等で利用されているが、同等の部屋を確保できるのでしょうか？

・可動式の椅子であっても、避難所機能に影響は無いでしょうか？

・大ホールが大きすぎ、いらぬ。

・ワークショップが20名だけって少なすぎる。

・出席している世代が予想通りシニア世代が中心であったことに残念な気持ちはありました。地方債の活用ということは「借金の先送り」になるということであり、これからの子どもたちに関係してくること。借金が多く負担が見込まれるイメージが膨らむと、さらに若者世代の流出に拍車がかかるのではないかと感じます。

40代世代がこのような町財政に関わる説明会に参加するようなSNSなどを活用した説明会の形をご検討頂きたい。

・文化センターのワークショップに参加させて頂いた〇〇です。全体的に皆さんから出された意見を可能な限り反映させて頂いた事をお礼申し上げます。設計の方々素晴らしいと感動しました。あとは、町の行政の運営のやり方を十分に検討していただき、ただの箱物とせず、稼働率を高くなるように赤字経営にならない様に工夫して頂きたいと思います。単純に使用料を高くするのではなく、集まってきた人にお金を投げてもらえる様に考えてほしいです。(使用料を高くすると借りる人が減ることが考えられます。)私も個人的にこの文化センターを利用し、町の活性化のお役に立てればいいなと思います。

・可動部分の廃止、点検費や維持費のカット、民泊の転用は出来ないか？

・文化センターを作るのであればコンビニ(利便)と交番(治安)をセットで入れ込んでください。

・質問者が多いので時間を長くしてはどうか。

・計画を見直す必要があるという意見の方が多という印象を受けた。住民投票を行ってはどうか？

・財政シミュレーションの中で改善していくとのことですが、本日の説明会ではよく見えません。遊休資産の売却は見通しが甘いのではないのでしょうか？このシミュレーションの通りにならず、さらに財政が悪化したら誰が責任をとれるのでしょうか。くどいようですが、このシミュレーションは全体的に見通しが甘いと考えます。

・図書館に自習室はないのか？

・3施設を統合する理由が不明。

・ホールの部屋数はいまの公民館より多いか少ないか？

・文化センター大賛成です。住民の安全・地域の活性化に必要です。

・説明会は必要であると思います。関心の有る方が多いことが分かりました。

・財政の問題は多々あると思いますがホールが建設されることで、街が美しく住みやすくなり住民が増加していくことを期待しています。

・まだ言いたい人いっぱいいた。引き続きの説明会をすべき。必ず何回もやってほしい。これでは不満ばかり残る。

- ・財政の説明が専門すぎて素人に分かりづらかった。もう少し、素人に分かるように工夫があれば良い。
- ・いつも厳しい財政です、長年楽しみに待っています図書館・文化センターです。完成を心待ちにしています。
- ・図書館を思い切って閉鎖し、小中学校の図書館施設の充実を図る方法も考えられるのでは？
- ・近隣の町に比べ平群町は文化センターが遅れ寂しく思っていました、今回待望の文化センターの建設が出来る事うれしく思います。
- ・町政のひっ迫状態の事を思いますと、町民への負担があまり大きくなならない事を願うばかりです。
- ・クラブ活動等で部屋を借りていますが、新センターでも引き続き活動できる部屋を確保できるのでしょうか？
- ・本日の説明は消化不良である。要再検討。
- ・平群駅北側の踏切改善を先にやれ。
- ・文化センター建設は地方債の借入が前提条件で計画されている。役人は借金しか考えないのか？
- ・別の機会にも住民説明会を必ず開いてください。
- ・この住民説明会を文化センターへの合意ができたとのセレモニーにしてほしくない。
- ・資料裏面の挨拶に町民に向けて字の色まで変えて「困難を乗り越えてこそ～」とあるが、これはおかしい、驚く文言！
- ・すべての大字、自治会での住民説明会で住民に説明されるよう提案されたが答えられていなかった。
- ・議会で“一旦立ち止まって”の案が5:6で否決された。全議員の賛成で進んでいないことが分かった。
- ・立ち止まって考える～拍手があった、これはどういうことか。
- ・説明会開催は良かったと思う。少し遅すぎたのではないか？
- 文化センターを含む駅前開発全般の説明が不足していたように思う。
- ・駅前開発全般のイメージが当初から分からなかったのは残念。
- ・東側への道路改修の説明なし、不便さは変わらない。
- ・大ホールの設計は楽しみのある感じを受けた。又、イベント広場等での町のにぎわいから町の交流？を期待する。

・大変な努力の結果、素晴らしい計画を立案された事に敬意を表します。その中でやはり気になるのが駅周辺の結末、最大の注意を払って計画に齟齬来すことなく進められることを望みます。町有地の売却の早急実行を。

・将来庁舎用地は10年後に検討建築予定となっている。現時点での構想を聞かせてほしい。
(建築内容、レイアウト、機能等)

・本日の説明は全てバラ色で本当にこんな計画が実現すれば嬉しいなという感じでした。しかし、前回の説明会にされた住民への節約の計画は1つも説明が無くて住民にとっては公正さが欠けているように感じた。新しい文化センターの計画についても、今の公民館の大ホールの2倍の広さと言われました。そんな大きな大ホールは年に何回使われるか？使用料はいくらになるのか疑問に思います。

・説明会を自治会単位で開き住民の意見を聞いてほしい。

(自由意見②) 行財政全般に対するご意見・ご要望等について

・遊休資産が多数平群にはある、その再利用などの考えは？又、その遊休地が町の財政上のプラスになるものかどうか。

・平成30年～35年、財政改善策の具体的な対策を示されなかったのが、大変残念である。

・赤字行政にならないように取り組んでいただきたい。

・平群は人口が減少しています。税金の負担が増加するとさらに人口が減少すると思います。人口減少の理由と対策について具体的に取り組んでいただきたい。

・もっと具体的に説明してほしい。住民の負担を少なくする。高齢化に伴い、住民の支出は厳しい。収入を得る施設等が必要と思う。

・日頃よりわが町は情報発信が弱いと感じています。本日の説明会に関しても事前告知が不十分だったのではと不満を持っていますので改善を要望します。また、質疑応答でこういった意見がでたのか、早急に十分な情報発信を頂けますよう要望します。

・建設予定地より東へ渡る踏切よりバイパス通りへ行く道が狭い。その道を広げる計画はどうなっているのか？狭くて危ない！

・駅周事業が終了してから図書館・文化ホールの事業を着手してはどうですか？急ぐのはわかるけれど今まで遅れていたのでは急ぐことはない。

・住民からの寄付を求めては如何。小生、貧者の一灯として10万円を考えております。

・本離れの時代、必要はあるが、どれ程必要か。新聞も取らない家もある。

・平群駅前線の歩道が広いこと。あそこだけ立派な道路が付いて誰が通るのでしょうか。もう少し全体にあった広さにすれば車が何台入る駐車場が出来るでしょうか、少しでも収入になると思います。

- ・説明会に20～40代の世代が全く来ていない。分析すべき。
- ・厳しい財政状況でございますが、建替えの時期にもうすでに来ている所ですので、是非とも必要な施設です。職員一丸となって頑張ってください。
- ・地方債を安易に発行することについては疑問がある。
- ・災害等に備えるべき、基金の備えを町はどう捉えているのか？
- ・体育・スポーツ・文化に関していえばメンテナンス維持費（施設維持管理専門家育成・人件費等を含む）に関しての予算設定が甘く感じる。
- ・駅周辺事業の検証をきっちりされているのか？本来の予定と現状との乖離（施設・決算等）の原因究明すべき。
- ・若い人たちの意見をもっと取り入れる対策を！！
- ・行財政改革の説明の中で借換え等で改善する旨の内容であるとあったが、職員の給与カット等の方法には取り組むことはしないのは何故か？地方行政で悪化した所は必ずそこから取り組むと思うのだが・・・。
- ・簡単ではないと思いますが、市や町の合併を進められないでしょうか。（効率的な自治体運営ができるため）
- ・他市町村の公共施設を共用できるように進めていただきたい。生駒市と一部実施されているようですが、さらに進めていただきたい、新しい箱物は基本的に作らないほうが良いと思います。
- ・第2次健全化計画の進行が前提だろうが、健全化計画の数値目標達成はかなり厳しい、どう考えているのか？
- ・計画通りといっても5年後以降、いっそう厳しい財政事情になると思うがどうか？
- ・「住民にできるだけ負担をかけない」と言っているが、職員の削減も住民生活に大いに関係してくる。
- ・財政シミュレーション等の説明は絵に書いた餅のように見えた。
- ・町として努力して頂くことに感謝しておりますが、町のこれからの有り方が見えてこない。今厳しい状況であるが、こういう施策を立てて実行するので、今しばらく辛抱して頂けたらそれからは楽しい明るい町が出来るようにしてほしい。
- ・説明会を又やってほしい。
- ・債務の返済が心配です。老朽設備・施設でも我慢するしかないと思っています。町民の要望が多かったとの事ですが、借入金で建設ではなく積立金で出来たらの要望では？自己資金0は考えられない？

- ・遊休資産の売却期待できるとは思わないが、積極的処分活用で町財政に寄与するとの具体的対応？
- ・(仮称)文化センター維持費の軽減 ①利用者負担の増額要検討 ②太陽光発電(屋上全面) ③大ホール客席の引出し素晴らしいが故障多く維持費大となるのでは？要再考。
- ・医療費免除について、幼児・小学生・中学生達は理解できますが、高校生は如何なものと思います。高校生はやりすぎと思います。
- ・駅前開発の失敗原因の詳細検討が必要。赤字の責任を町長に負わさないこと。原因者負担の原則で組合に負担させること。この問題を放置して、次の文化センター建設を進めるべきではない。
- ・町有地の売却対策を具体的に表示と実行をできること。
- ・南保育所の跡地は「いつ」「どれくらい」で売却するのか？具体的に示すこと。
- ・「災い転じて福となす」を実現できるような決起集会を開くべし。その際は行政と住民もパイプ役の団体にも声かけし可能な限り沢山の出席が不可欠。
- ・住民を疎外視した財政対策は「協働」の考えが生かされていない。住民も痛みを感じて目標達成することを望んでいる。
- ・新施設は必要だが大幅な財政赤字に陥ることで平群町自身が破綻しては終わりなので、財政予算と相談した建物建設が必要であり、イベント広場などは縮小すべきである。
- ・この事業推進するが故に他の重要課題が進行しない又は遅れることはないか？
- ・町の活性化とは何か？新しい公民館や図書館が出来、文化活動等の機会、イベントへの参加に積極的になって町中の人達が楽しんでそのための提案に参考して下さるような調整を期待します。
- ・本開発事業は一部の人のメリットの為に大多数の住民負担増になったと思う。不必要な道路等々人が今後集まれる地域になるのか？
- ・今まで先送りにしてきた事業であるので耐震工事の必要性を機会に文化センターは実施すべきです。
- ・住民の生活を優先した上で文化センターを見直すこと。

3. 質疑回答要旨

説明会での意見・質問等及び町の回答について、以下のとおりです。

NO	意見・質問等	回答等
1	<p>・旧南都銀行から駅前への通行車両のUターンは大変危険であり、安全管理に対処願いたい。また、駅前ロータリーの作りが危険である。</p> <p>・平群駅北側踏切（2号）から、線路を左手に見ながら駅の方に向かうと、ロータリー北側踏切（1号）付近の作りが危険である。（車からそこを渡ろうとするお子さん・車椅子の方が見えない。）役場方面からの車の停止線をもう少し手前にしてもらいたい。</p>	<p>・駅舎の前をUターンする車両については、啓発看板を設置し、地域の協力を頂きたい。駅舎前の歩道は歩行者専用道路の位置づけであり、一般車両は通れません。</p> <p>ロータリーは、設計の中で県や警察と協議を行ったうえで、現状のように整備しました。</p> <p>・ロータリー北側踏切（1号）の拡張はH31年度に、工事ができるように設計を行っています。約8m道路が三里交差点にアクセスされる予定です。</p>
2	<p>・少子高齢化の時代にハコモノ事業は必要か。税込減と住民減である。〇〇市で、住民意見で工事契約がストップした。（庁舎建設工事中止の例）一度立ち止まって、考え直してはどうか。</p>	<p>・H25年の第5次総合計画策定時に、住民ニーズを聞いており、その中で文化センター・図書館建設は要望のあったものです。（1位は図書館、2位は公民館）</p> <p>財政が厳しいという理由で中央公民館・人権交流センターを耐震化しないことは、行政として無責任と感じています。将来を見据えて財政規模を考え、今の施設より小さい規模で建設します。</p>
3	<p>・財政破綻を回避する財政健全化計画を予定どおり実施できた場合が、説明のあったシミュレーションである。財政健全化計画のとおり、土地が売れない場合どうなるのか。また地方債残高、公債費率の見込はどうなのか。</p> <p>・後年度に大きな事業を行う場合に、どういったことが想定されるのか。建設は、一度立ち止まってはどうか。</p> <p>・文化センター建設に全議員が賛成でない。そういう点で、全大字・自治会で説明責任を果たしてもらいたい。</p>	<p>・地方債残高は、H30年度末で151億4千万円、H31年度末で150億9千6百万円となる見込みであります。</p> <p>・文化センター建設に係るの地方債は、施設の耐用年数からも、30年の償還を予定しており、その間の世代間負担をしてもらうことは致し方ないと思います。</p> <p>・「公債費の償還」は、H30年度で10億7千万円、H31年度で10億6千8百万円となり、「実質公債費比率」は17%～18%となる見込みです。</p> <p>・今後の財政運営については、住民皆さま</p>

		に迷惑がかからないよう、例えば、学校教育施設のエアコン化といった事業についても年次計画を立て実施していきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館は、耐震化されていないので、建設はある程度賛成である。ただ、そのための住民負担は反対である。 ・平群町も人口が減っている。人があってこそまちづくりである。建設は必要と考えるが、同時に魅力あるまちづくり、安心できるまちづくりが大事である。住民の税負担が軽くなるよう取り組んで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民負担や日々の生活に支障をきたさないようにしたいと思います。 ・これまで、財政健全化に取り組んできましたが、平群町の身の丈を超えた一部の住民サービスはストップさせていただいたが、大幅な住民サービスの削減は行っていません。 ・固定資産税の超過課税についても、凍結している都市計画税に代わるものです。都市計画税を考慮すると、平群町の税金は決して高くないことをご理解して頂きたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター敷地の北西部分に交差点があり、1か月に2件事故があった。駐車場の出入り口がその交差点に近いので位置の検討できないか。 ・道路と駐車場及び歩道の高低差に配慮して欲しい。周辺住民に話し合いや相談の場を設けて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出入り口の設置に基準があり、交差点の隅切りから5m以上離さなければなりません。将来庁舎の建設も含めてこの位置が適しています。 ・車道と歩道の高低差は、ほぼフラットです。周辺は通学路になっており内部で調整検討します。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・財政シミュレーションであるが、財政健全化を実施してもH35年度まで赤字であることは変わらない。どうやって黒字化していくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化のこれまでの取り組みとして、H19年に行政組織を6部21課であったものを14課に、その後12課に集約しました。また行政組織として経費削減の取り組みを相当やってきました。 ・これまでも厳しい財政状況ではありましたが、住民サービスを決して落とすことなく務めてきたところです。 具体的には、平群小学校の大規模改修、平群北小・平群小体育館の耐震改修を終えて、学校は100%耐震化されました。次に小・中学校の空調整備とトイレ洋式化を進

		<p>めています。最後は、役場本庁舎と公民館・図書館の問題を解決します。その他、ソフト事業として、高校3年生までの医療費無償化、学童保育の充実、外国語講師の派遣、ゆめさとこども園の建設などです。</p> <p>・駅周事業の清算金と、文化センターの建設費が一時的に重なることにより、非常に厳しい財政状況になりますが、住民サービスは削減することなく、皆さんに新たなご負担を求めることのないよう、H34年度からの第3次財政健全化計画をしっかりと作り、住民の皆さまに説明しながら、取り組んでいきます。</p>
7	<p>・文化センター・図書館建設は、地域住民全部に説明したうえで、実際にニーズがあるのか。町の人口は、H41年に15,000人くらいになる。人口減を考えた施設規模になっているのか。</p> <p>・基本設計はいつ終わるのか。総事業費24億円は数字が不明である。</p> <p>・図書館について、側面がガラス仕様、屋根が鉄板系で熱負荷が高い。空調設備はどのようなものか。矢田テラスは過剰でないのか。大ホールは、2倍の広さは必要なのか。</p>	<p>・建設に至る経緯ですが、全国的に少子高齢化・人口減少により、住民の皆さまの公共施設への利用需要が変化しており、国のハコモノの老朽化対策にかかる補助金を使い、施設を建設するものです。</p> <p>・H19年から公共施設統廃合の検討が始まり、その後具体的に駅前での検討、H28年度で基本計画、H29年度基本・実施設計に取り組みました。事業費は24億円との説明でしたが、駅周辺整備事業に伴う清算金（用地単価差単価差）などにより約3億円の町負担が必要となり、あわせて約27億円となっています。</p> <p>・図書館のガラス張りの件ですが、線路側はすべてガラスでなく壁とガラスのスリット状に、南側は遮光ルーバーを設置して熱負荷対策を行っています。矢田テラスは、ワークショップの意見を取り入れ設計に組み込みました。大ホールは、講演会・総会などでホールに入りきれない程の参加があり、適切な広さと考えています。</p>

8	<ul style="list-style-type: none"> ・町長から、この事業は住民の20年来の要望であり、施設が老朽化しているため建設計画が行われたとの事。この計画はH26年位に町民が知ることとなり、その時の民意とH30年の民意では全く違う。 ・財政健全化計画の説明があったが、地方債（借金）と町有地の売却によるところが大きい。自転車操業の不確定要素が大きいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター施設建設は住民要望もありますが、駅周辺整備事業の完結と密接に関わっています。駅周事業は、H30年度で現場が完了し、区域内の保留地等に文化センターを建設することで、清算を円滑に実施することができます。
---	---	--